

11 日本の交通・通信網

○交通網による世界との結びつき

日本の貨物輸送

- 海上輸送:原油や液化天然ガスなどの輸入、機械や自動車などの輸出
- 航空輸送:電子部品や野菜、生花などの輸出入

＜日本の海上輸送貨物と航空輸送貨物＞

海上輸送貨物(2018)			
輸出 合計 57.4 兆円		輸入 合計 60.0 兆円	
機械類	34.3%	原油	14.8%
自動車	19.0	液化天然ガス	9.0
電気製品	9.4	その他	76.2
鋼材	5.9		
その他	31.4		

航空輸送貨物(2017)			
輸出 合計 23.6 兆円		輸入 合計 21.3 兆円	
半導体など	16.2%	化学品	16.1%
精密機械	9.7	半導体など	11.6
化学品	8.6	精密機械	10.5
その他	65.5	事務用機器	6.8
		その他	55.0

日本と世界各地の人の移動:日本から海外へ出かける人や日本を訪れる外国人観光客が増加
→商業や観光業が活性化、一方で宿泊施設など受け入れ体制を整えることが課題

○交通網の整備と生活の変化

高度経済成長期以降

- (**高速交通網**)の整備→都市間の移動にかかる時間が大幅に短縮
- 高速道路の整備→国内の旅客輸送や貨物輸送で自動車による輸送の割合が高まる
- インターチェンジ付近→工業団地や流通団地がつくられ、人口が増えた地域もある
- 大都市圏内の通勤・通学→鉄道の利用が多く、他の先進国に比べて旅客輸送の割合が高い

＜国内輸送の内訳の変化＞

	旅客	
	1960年	2018年
鉄道	75.8%	30.2%
自動車	22.8	63.0
船	1.1	0.2
航空機	0.3	6.6

	貨物	
	1960年	2018年
鉄道	39.0%	3.8%
自動車	15.0	60.9
船	46.0	35.1
航空機	0.1 未満	0.2

○通信網の発達と生活の変化

- (**高速通信網**)の整備:インターネットの普及が進む
- 離島や農山村で全国から商品を購入、医師の診療を受けることも可能へ
- 一方、情報通信技術を利用できる人とできない人との間で、(**情報格差**)が生じる